

比の台風被災地

「被害は悲惨だ」

AMDA派遣の看護師ら



会見する館野和之さん（左）
と渡邊美英さん＝岡山市内で

11月末から12月初めに
かけて発生した台風によ
る泥流被災の支援のた
め、国際医療NGO「A
MDA」（本部・岡山

市）からフィリピン・ア
ルバイ州に派遣された看
護師ら2人が帰国し、25
日、岡山市内で記者会見
した。

2人は看護師の渡邊美
英さん（47）＝長野市＝
と、調整員の館野和之さ
ん（44）＝岡山市＝。

7月にあった地震被災
支援でもインドネシア・
ジャワ島で活動した渡邊
さんは「ジャワとは比較
にならないほど被害は悲
惨だった。住民のストレ
スは強く、ささいなトラ

ブルで背中に銃弾を受け
た女性もいた」と証言。
館野さんは「水不足と停
電に苦しんだ。医療機器
をとおろにも動力がな
く、現地で発電機を買っ
てしのいだ」と困難を極
めた活動を振り返った。

AMDAは、日本から
4人を派遣し、フィリピ
ンやインドネシアの海外
支部などから40人が参
加。12月5～21日、被災
者約5500人の診療に
あたったという。